

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

株式会社 ブルーライン

②事業者情報

| | |
|----------------------------------|---------------------|
| 名称: 所沢市立こあふる | 種別: 生活介護事業 |
| 代表者氏名: 遠藤 里香 | 定員(利用人数): 20 (20) 名 |
| 〒 359-1164 所在地: 埼玉県三ヶ島5-828-6 | TEL 04-2938-1500 |

③総評

| |
|--|
| <p>◇特に評価の高い点</p> <p>(1)【事業計画の説明方法】 中期計画より抽出された重点テーマに加え、毎年度継続しているテーマを加え事業計画が策定されている。内容は実行可能な具体的な内容となっており、評価・見直しがされる。事業報告は計画と対比して確認出来る様、工夫された様式となっている。又、事業計画は分かり易く表現された内容に修正し、家族会や利用者集会時に配布・説明を行っている。利用者に対しては、写真や図・絵等を使用して理解がし易い様に工夫して説明を行っている。</p> <p>(2)【障害者特性に配慮】 個々の利用者の障害特性等に配慮した対応をしている。会話に集中できる様に姿勢や位置を工夫したり、話すスピードや仕草、写真(タブレット)、道具等を使用しながら、より適切なコミュニケーションが図れる様に対応している。又、利用者の興味・関心がある話題を見つける為に職員間で話し合う事もある。利用者の意思や希望をできるだけ適切に理解する為に、発声や仕草・動きに注目し取り組んでいる。</p> <p>(3)【地域貢献について】 地域のまちづくり推進会議に出席して、地域の課題等の共有を図っている。市民フェスティバルや市主催の作品展や地区の文化祭等で自主生産品を展示・販売する事で地域との交流を図っている。地域に対して車椅子の貸出し事業を計画的に行っている。又、地域からの要望で出前講座を行っている。福祉避難所としての役割も位置付けられている。</p> |
| <p>◇特にコメントを要する点</p> <p>(1)【標準的実施方法】 標準的な実施方法は策定されておらず、又、利用者の尊重・プライバシーの保護や権利擁護に関わる姿勢が確認出来ない。標準的な実施方法について、研修や個別の指導等によって職員に周知徹底するための方策は行われていない為、標準的な実施方法にもとづいて実施されているかどうかを確認する仕組みは明確ではない。</p> <p>(2)【目標管理システム】 目標管理システムを導入し職員による自己目標の設定・年2回の達成度確認・評価面談と、一連の仕組に従い評価がされ、最終的には賞与に反映されている。評価面談の際には、職員の評価値や期待値を伝え、併せて職員からも要望や意見等を聞く機会としているが、職員の意見からは将来の自分の姿に付き疑問が残る所となっている。</p> |

④第三者評価結果に対する事業者のコメント

福祉サービス第三者評価の受審にあたり、改めて当事業所の運営等を見直す良い機会となりました。評価を通じてご指摘いただいた事項につきましては職員間で共有し、改善等対策に早急に取り組み業務改善に努めます。また、福祉サービスの提供につきましては、職員間の情報共有に努め、ご利用者及びご家族との信頼関係を保ちながら、より良いサービスの提供に取り組めます。

⑤各評価項目にかかる第三者評価結果

別紙